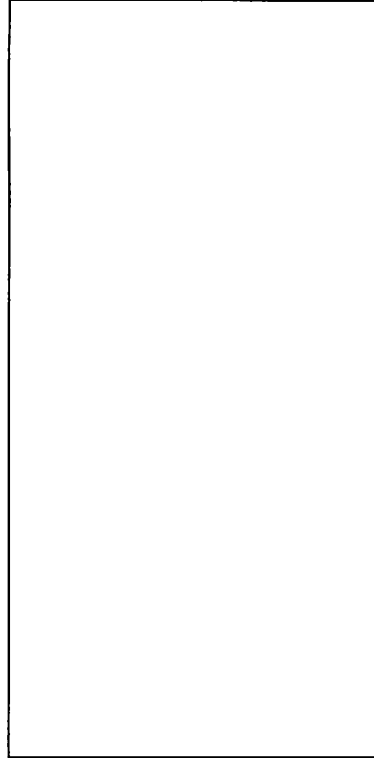


愛 あい

親おやの愛あいがどのようなものか考かんえて、思おもいついたこ
とを、つぎの空白くうはくに書かいてください。



敵てきを愛あいしなさい

「ほおを打うつ者ものには、もう一方いっぽうのほおをも向むけなさい

い」とか、「敵てきを愛あいしなさい」という言葉ことばは、すべて
の人ひとをゆるし、受け入うれていくことの大切たいせつさを言いつて
るように聞きこえます。教会きょうかいの歴史れきしの中なかでも、人ひとを非難ひなん
してはいけないということが言いわれて来きました。しか
し、実際じつさいには権力者けんりよくしやや金持ちかねもちの不正ふせいをゆるすことにな
りました。

不正ふせいをゆるすことは人ひとを愛あいすることになりません。
人ひとを愛あいするのなら、不正ふせいを働はたらかないように正ただしてい
くことが大切たいせつです。そのためには相手あいてを批判ひはんする必要ひつよう
もあります。相手あいてとぶつかってでも不正ふせいを正ただすよう
しなければなりません。このような意味いみで正義せいぎのない

愛は無意味です。人をあまやかすだけで、人を愛した
ことにはなりません。

キリスト教は「愛の宗教」と呼ばれています。確

かにキリスト教の特色をよく表わしていますが、

一方で誤った考えが伝えられています。旧約の神

は恐ろしい神で、新約の神はやさしい神だと考えら
れています。

しかし、よく考えてみるとそうではありません。

旧約の神は、両親が子どもを罰するように民を罰し

ます。自分の選んだ民を正しく導くために、たとえ

自分が愛する民であっても、わざわざエジプトの地か

ら導いて約束の地に入れた民であっても、その地か
ら追い払うのです。しかし、たとえ民を追い出しても
神は契約を破ることはありません。

新約の神はただやさしいだけではありません。ファ

リサイ派や、律法学者や、金持ちに対してきびしい

言葉を語るイエスの姿を見ればわかります。

